

基調講演

岩倉 哲夫 橋本市文化財保護審議会委員、和歌山地方史研究会、和歌山城郭調査研究会、橋本市歴史研究会、高野口文化財研究会などにおいて研究活動等で活躍。「政所一族と隅田一族」『橋本市郷土資料館報第20号』、「真田幸村の九度山脱出と「真田丸」に関する一考察」『和歌山城郭研究第15号』、『定本和歌山県の城 監修:水島大二』(共著、郷土出版社)、『きのくに荘園の世界 山陰加春夫編』上巻(共著、清文堂出版)ほか著作、論文等多数。



講談・語り

旭堂 南左衛門



本名 西野 安彦 兵庫県三田市出身。近畿大学商経学部卒業後、三代目旭堂南陵に入門し、南学を貰う。昭和62年に真打昇進。旭堂南左衛門を創名。平成3年第8回咲くやこの花賞(大阪市)を、平成5年には、国立演芸場花形演芸会金賞を受賞。平成17年上方講談協会会長に就任。平成12年日本テレマン協会主催の「ヘンデル・オラトリオ本邦初演シリーズ」に内容解説の講談師として出演し、以来作家・中野順哉(日本テレマン協会)との二人三脚で「上方講談」の創作活動を積極的に展開中。また、平成18年十月花形歌舞伎「通し狂言・染模様恩愛御書(松竹座)」にて歌舞伎との共演が実現。以後平成22年三月花形歌舞伎「通し狂言・染模様恩愛御書(日生劇場)」に出演するなど、比類なき名人として上方講談における地位を盤石のものにしつつある。

旭堂 南舟



東大阪市出身 岸和田市在住 会社員を経て平成20年3月 上方講談協会会長 旭堂南左衛門に入門 平成20年5月 奈良県酒肆・春鹿で初舞台 平成27年から年1回、岸和田市で『旭堂 南舟 独演会』開催 現在FMラヂオきしわだでパーソナリティを務めている。

もみじ



本名 中尾 智美 平成20年に旭堂南左衛門に入門。えびす座で初高座後、泰聖寺・動楽亭などで前講を務め、平成28年に和歌山ものがたり観光推進委員会を立ち上げ、和歌山の歴史ものがたりを語りで発信中。

陸奥宗光ウオーク

※雨天決行。昼食、飲み物、着替え、ハイキングに必要なもの(雨天の場合は雨具)の用意をお願いします!

※万一事故が発生した場合、加入傷害保険の範囲内での補償となりますのでご了承ください。

●明治政府の外務大臣として不平等条約を改正し我が国を救った紀州出身の偉人陸奥宗光。没後120年にあたり、多感な9～15歳までの青少年期を過ごした伊都・橋本・五條地方での足跡を辿ります。

陸奥宗光①「和歌山城下追放・流浪の道を歩く」 9時30分集合 距離 11km 申込締切 10月4日(水)

10月8日(日) JR高野口駅(集合)―◎十里松跡―農業ふれあい公園―妙楽寺―◎小原田―JR/南海橋本駅(解散)

陸奥宗光②「流浪から勉学への道を歩く」 9時30分集合 距離 12km 申込締切 10月25日(水)

11月3日(金・祝) JR隅田駅(集合)―◎恋野―恋野の里あい公園―◎御山―五條新町―◎五條代官所跡―JR五条駅(解散)

陸奥宗光③「雌伏と凱旋の道を歩く」 9時30分集合 距離 12km 申込締切 12月6日(水)

12月16日(土) JR橋本駅(集合)―橋本橋―清水の街並み―南馬場―◎真田庵―◎入郷―JR高野口駅(解散)

◎ガイド等の説明箇所

申し込み・問い合わせは

* ウォークはFAXでお申し込みください。FAX:0736-33-1665(橋本市観光協会事務局)

* 問い合わせTEL:090-7115-7732 平日9:00～17:00(橋本観光ガイドの会 キタモト)

陸奥宗光の多感な青少年期の足跡を辿る

陸奥宗光ウオーク

(全回・1回・2回・3回) 参加申込のウォークに○印をご記入ください。

| | | |
|------|-------|---------|
| 氏名 | (代表者) | (男名・女名) |
| 住所 | | |
| 電話 | 携帯電話 | |
| 同伴者名 | | |

※ご記入内容について、当該ウォークの目的外の使用はいたしません。